

IoT・AI・5Gなどデジタル社会への移行、透析患者の増加等の医療問題を背景に、精密クリーンバルブ業界での世界トップシェアを堅持し、「春日井から世界の半導体製造・医療現場を支える」

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

「春日井から世界の半導体製造・医療現場を支える」をビジョンに、国産の半導体製造装置関連産業のサプライチェーン構築を担う1社として半導体製造装置メーカーへ、また医療機器（透析装置）メーカーに向けて高性能な精密クリーンバルブの安定的な供給体制を構築、世界トップシェアを堅持する。

財務的な安定性・健全性を確保しつつ、適切な投資計画を実行し、生産能力を拡大する。

売上成長目標

- ・ 2032年までに会社全体の売上高成長率130%

外発的動機

IoT・AI・5G・ビッグデータ活用など、世界中でデジタル社会への移行が進むというメガトレンドの中にあり、中長期的な半導体需要は産業用途・医療・自動車向けなど成長が見込まれる（SEMIによれば、半導体市場は、2023年から2030年までの年平均成長率は約10%）。また、直接的な顧客である半導体製造装置メーカーからの増産要求があることなどが外発的動機である。

内発的動機

愛知県春日井市をメイン拠点として、「春日井から世界の半導体製造・医療現場を支える」をビジョンに掲げ、事業を拡大してきた。
これからも地元によく愛される企業として、春日井市にて安定的かつ強固な生産能力を構築し、生産性向上・賃上げ等により社員のQOL向上を実現したいことが内発的動機である。

世界的な半導体需要急増を背景に、半導体製造装置メーカーの増産計画に対応するため、モーター生産能力
倍増を核とした成長投資による「精密クリーンバルブ製品の生産能力増強計画（本社第二工場 2 期棟増設）」

補助事業の
背景・目的

世界的な半導体需要急増を背景に国産半導体製造装置メーカーから生産要求が拡大中。
需要に対するため生産能力を倍増させ、自動化ラインの導入により労働生産性・賃上げを
実現する。

事業費
(補助額)

32億円
(8.9億円)

設備投資の
内容

【設備投資の内容】

精密クリーンバルブ生産能力の倍増を核とした成長投資による精密クリーンバルブ
製品の生産能力増強計画（本社第二工場 2 期棟増設）

建物サイズ：60m×27.5m

1F：工作機械エリア/コンプレッサー室、2F：モーター生産/部品倉庫、3F：
クリーンルーム、4F：生産管理室（兼倉庫）

【設備投資による課題解決、労働生産性向上】

国産半導体製造装置メーカーの生産要求に対応。本社第二工場 2 期棟を新設
し、生産の自動化ラインを整備・拡充することにより、「省力化」と「生産能力の倍
増による売上増」を達成し、労働生産性の向上と賃上げを実現する。

【実現性・投資計画の妥当性】

工場建設用地は確保済。総投資額34億円。収支計画と余剰資金から負担少な
く、投資計画は妥当な水準。



目標値

項目	2025年度 (基準年度)	2028年度 (基準年度 + 3 年後)
労働生産性 (単位：万円/人)	2,917.9	3,469.6 (年平均上昇率5.9%)
従業員1人あたり給与と支給総額 (単位：万円/人)	613.7	700.3 (年平均上昇率4.5%)
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	285	325